



### 図書委員会の活動から

合唱コンクール、マラソン大会、期末テスト、三者面談と目白押しだった二学期。図書委員会の活動も、漸く12月に入ってから活動開始となりました。

### その1

図書委員は毎日の当番の仕事として、カウンターに返却された本を書架に戻すことをしています。

そこで、新しく図書委員になった人にも、成瀬台中の図書館の配架のきまりを勉強してもらいました。図書館の本は、**N.D.C. (日本十進分類法)**にしたがって配架されていますが、本棚の高さの関係で若干分類通りにならないところもあります。新書や文庫類は別にまとめておかれていますし、近代文学なども場所を指定しています。近代文学を別に配架してあるのは、授業で近代文学だけを取り出して学ぶことがあったからと、成瀬台中学校の特徴を生かしてのことです。

総合学習や教科の学習のときに、移動式のワゴンに授業に関するテーマで本を並べておくこともやっています。図書館では、こうしたやりかたを、別置(べっち)と言って、子どもたちがスムーズに授業での調べ学習ができるよう配慮しています。

12月、後期の図書委員には、本がいつもキッチンと元に戻るように、担当書架を決めました。本棚にきちんと本が戻っているか、次に使う人が本を探しやすいように整理してもらいました。

よく使われる書架の担当は大変ですが、どこにどんな本があるか知っていると、図書館の仕組みや本の秘密が見えてきて、知りたいことの探し物も楽しくなります。もしかしたら、「へえ、こんな本もあるんだ!」という新たな発見もあるかもしれません。先生方も、どうぞ**図書館散歩**をお楽しみください。

### その2

図書委員は、**新聞係**、**本の紹介係**、**イベント係**のいずれかになって、仕事を分担し活動しています。

もうすぐ、3年生が担当した新聞が発行されますので、ご覧ください。

本の紹介は、前期もやっていた活動です。たいていの場合は、担任の先生の協力もあって、しっかり紹介できたようです。紹介した本が、図書館から借りられて、読書の輪が広がっていくのを感じました。

ただ、問題もありました。朝読書をしているときに紹介しにいくと、「せっかく読んでいるのに…」という声も聞こえてきたり、しっかり聞いてもらえなかったりしたという声もありました。図書委員の紹介の未熟さも一因だったようです。そうした反省もあって、本の紹介活動を継続するかどうかは、図書委員が悩んだことの一つです。図書委員としての紹介の仕方の工夫も考えて、技も磨かなくてはいけないということも話し合いました。

そこで、三学期は朝読書の時間ではなくて、お昼の放送による紹介をしてみることにしました。紹介したい思いが届くように、練習をして臨みたいと思っています。放送委員会にもお手数かけますが、どうぞよろしくお願いします。

イベント係はポイント制で本を読んでいるかの企画を準備しています。もうすぐ、イベント係から案内が提示されます。

### \*全ての書架に、担当者が決まっています！

総合学習などで使われる3類(社会科学)4類(自然科学)5類(技術)6類(産業)の棚は、動きが激しいので揃えるのも大変です。授業で使った本は、誰もが元に戻せるようになるといいですね。子どもたちへのことばかけ、よろしくお願いします。

### 図書館のご案内

